



施策 共生社会

目指す
状態

多様性を尊重し、
誰もがその人らしく活躍できる社会をつくれます。

1 施策の現状と課題

- 性別、年齢、国籍の違いや障害の有無等による差別は根強く存在しており、近年では、SNSを通じた人権侵害等の新たな人権問題も顕在化しています。
- 本市では、性の多様性に関する理解促進を図っており、2023年（令和5年）3月15日に「柏市パートナーシップ・ファミリーシップ届出制度」を開始しました。
- 女性の社会参画は進んでいるものの、性別等にかかわらず、誰でも活躍できる環境づくりが求められています。

2 施策の現状と課題

- 本市では、柏市国際交流センターにおいて、姉妹友好都市との交流、国際理解推進のための取組、在住外国人への支援など、「交流」と「支援」を両輪とした市民の「共生」を推進しています。
- 国際化の進展により、在住外国人が増加している中で、地域との交流や情報ネットワークの環境が不足しており、在住外国人へのさらなる支援が求められます。

3 施策の現状と課題

- 昨今、世界各地で紛争が頻発しており、政治的・経済的分断への懸念が高まっています。本市では、平和首長会議に参画するなど他自治体とも連携して恒久平和の実現に向けた取組を進めています。
- 市民に平和の大切さを改めて認識してもらうことを目的とした、平和教育の推進が求められています。

● 主な関連部門計画 ● 柏市男女共同参画推進計画



施策の方向性 人権の尊重・男女共同参画を推進する

性別の違い等にかかわらず、誰もが互いの人権を尊重し、交流やスポーツなど様々な活動を通してつながり、暮らしや地域をともにつくっていきけるよう、意識啓発や環境整備を進めます。
性の多様性を理解し、互いを尊重し合うことで、誰もが自分らしく活躍できる環境をつくれます。

施策の方向性 多文化共生・国際交流を推進する

在住外国人が安心して生活できるよう、各種手続きの相談支援や通訳・翻訳の支援に加え、災害時も含めた多言語での情報提供の整備を進めます。
国籍、言語、文化の違いに関する市民の理解を深めるため、姉妹友好都市交流や異文化交流など市民主体の国際交流活動を促進します。

施策の方向性 平和活動を推進する

次世代に平和の尊さを伝えていくため、平和都市宣言に基づき、市民団体や学校教育機関等との協働のもと、平和に対する意識の醸成に取り組みます。